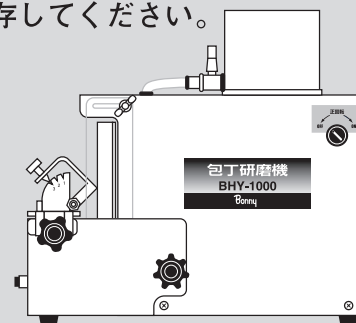


Bonny

包丁研磨機 BHY-1000

取扱説明書

- このたびは包丁研磨機 BHY-1000をお買上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を正しくお使いいただくために使用する前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、充分理解した上でご使用くださいますようお願いいたします。
- お読みになった後は必ず保管してください。
- 保証書は、必ず「販売店名・お買上げ日等の記入をお確かめになり、大切に保存してください。



特 長

- 1 回転数（無負荷時）700回転
- 2 ステンレス仕様で軽量化
- 3 独立した正回転・逆回転スイッチ
- 4 砥石の内側から給水（登録実用新案）
- 5 着脱式水受け

もくじ

安全上のご注意	1～4
各部のなまえ	5
仕様	6
砥石の回転方向	6
ご使用前の準備	7
正しい包丁の研ぎ方と注意	8
包丁の種類	11
スイッチを入れてもモーターが回らない時	11
ご使用後のお手入れ	12
砥石の交換方法	13
アフターサービス	14



Bonny 株式会社 **ボニー**

本社：大阪市浪速区久保吉1-3-6 TEL 06-6562-2360
ホームページ：www.bonny.co.jp

安全上のご注意

■この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にはこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例



感電注意

△は、注意（警告を含む）を示します。
具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「感電注意」を示します。



分解禁止

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「分解禁止」を示します。



プラグを抜く

●は、強制（必ずすること）を示します。
具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

修理技術者以外は、絶対に分解したり修理は行わないこと

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



分解禁止

水につけたり、水をかけたりしないこと

ショート・感電の恐れがあります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないこと

やけど・感電・けがをする恐れがあります。



禁止

部品の取付け、取外し及びお手入れするときは、スイッチを切り電源プラグを抜くこと

誤作動等によりけがをする恐れがあります。



プラグを抜く

注意

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと

感電やショートして発火することがあります。



プラグを持って抜く

コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないこと

感電・ショート・発火の原因となります。



使用禁止

コードを傷付けたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、また重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしないこと

コードが破損し、火災・感電の原因となります。



禁止

不安定なところでは使用しないこと

思わぬ事故やけがの原因となります。



禁止

安全上のご注意

運転中に移動させないこと

思わぬ事故やけがの原因となります。



禁止

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜くこと

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



プラグを抜く

本機は平らなテーブルの上に置くこと

思わぬ事故やけがの原因となります。



禁止

交流100V以外では使用しないこと

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



禁止

誤って落としたり、ぶつけたときは、砥石や本機のボディなどに破損、亀裂、変形がないことをよく確認してください

破損、亀裂、変形があるとけがの原因になります。

本機のスイッチが切れていることを確認してから、電源プラグを差し込んでください

スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因になります。

ぬれた手で電源に触らないでください

感電の原因になります。



禁止

使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください

けがの原因になります。



禁止

◆包丁研磨機ご使用に際して

⚠警告

使用に際しては、安全のため保護めがねの着用を心掛けてください

砥石は純正品を使用してください
純正品以外の砥石を使用されますと過負荷からのモーター焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。

砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください

異常があると、砥石が破損し、けがの原因になります。

使用中、機体の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店または当社まで点検、修理を依頼してください
そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠注意

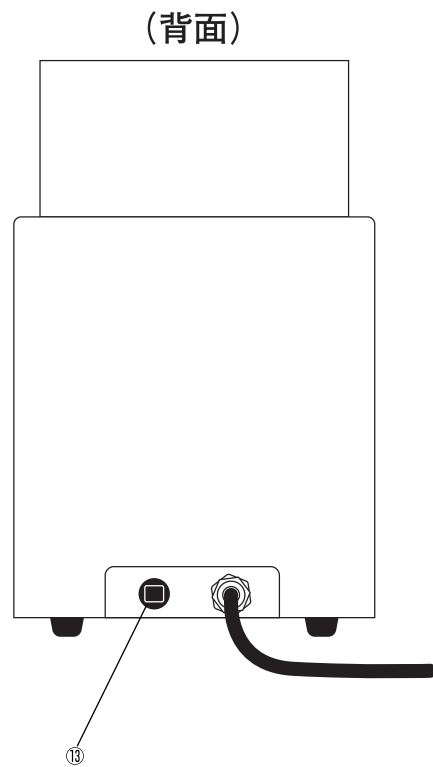
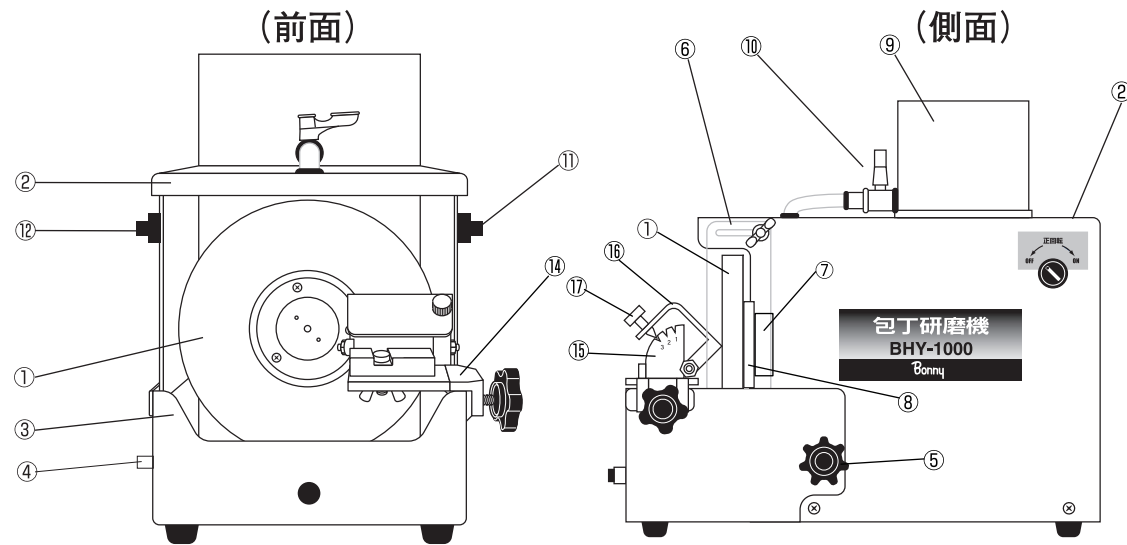
新しい砥石を取り付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください
砥石が破損したとき、けがの原因になります。

試運転を励行してください
試運転時間は、砥石交換のとき 3分間以上
その日の作業初めのとき 1分間以上
試運転せずに作業をすると、思わぬけがの原因になります。

砥石や付属品などは、取扱説明書に従って確実に取り付けてください
確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。

本機のスイッチは、正回転用と逆回転用があります
砥石の回転方向を変えるときは、一度スイッチを切り、回転が停止してから逆方向の回転スイッチを入れてください。

各部のなまえ



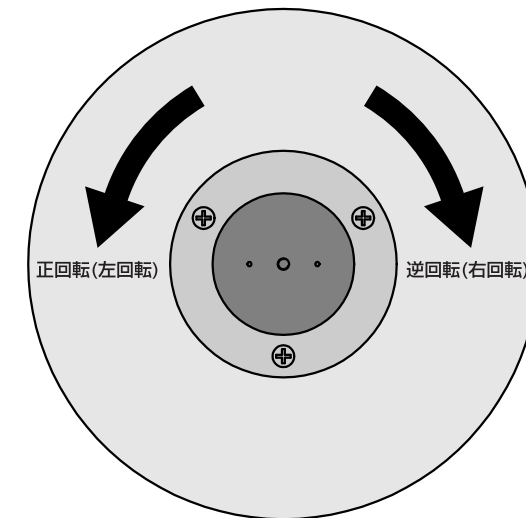
- ①砥石
- ②本体カバー
- ③水受け
- ④水受け用スタッドボルト
- ⑤水受け用ノブナット
- ⑥水除け用ポリカーボネイト板
- ⑦内蔵タンク
- ⑧砥石取付金具
- ⑨水タンク
- ⑩水タンク用バルブ
- ⑪スイッチ(正回転用)
- ⑫スイッチ(逆回転用)
- ⑬サーキットブレーカー
- ⑭刃物受けベース金具
- ⑮刃先角度調整金具
- ⑯刃物支持金具
- ⑰刃物支持金具固定用ねじ

- 付属品
- ・仕上用油砥石(オイルストーン) #500
 - ・排水ホース

仕様

型番	BHY-1000
電源	単相・交流100V
電流	DC 0.2A
消費電力	15W
定格時間	連続
回転数	700r./min.
砥石寸法	外径180×内径80×厚さ30mm
本体寸法	幅370×奥行250×高さ320mm
質量	15kg

砥石の回転方向



- 必ず正しい回転方向でご使用ください。
- 右包丁は正回転(左回転)、左包丁と両刃のウラ刃研ぎは逆回転(右回転)です。
- 刃先に砥石が下から上に向かってくるように回転方向を選んでください。
- 砥石の回転方向を変えるときは、一度スイッチを切り、回転が停止してから逆方向の回転スイッチを入れてください。

ご使用前の準備

1 包丁研磨機を安定した台の上に設置してください。

2 排水ホースの取付

③水受けに排水ホースの取付け口があります。

付属の排水ホースを挿入し、取付けてください。

ホースを継ぎ手から外す際は、ホースを押し込み、そのままリング部を均等に押し付け、真っ直ぐに引き抜いてください。



ご使用の際、ホース先端から研磨に使った水が排出されます。あらかじめ、受ける容器などを用意してください。

3 水タンクの水量調整

⑨水タンクに8分目くらいの水を入れます。

水タンクのcockを開き、砥石の内側の給水孔から出てくる水の量を調整してください。

次にスイッチを入れ、砥石を回転させて砥石表面を十分濡らしてください。このとき、水がはねない程度に水量を調節してください。



使用中など、給水孔からスムーズに水が出なくなったときは、水タンク内の水量が少なくなったか、給水孔の詰まりが考えられます。細い棒などで詰まりを取り除いてください。

4 刃先角度の調整

⑯刃物支持金具を砥石から1mm程度離して水受けに固定してください。

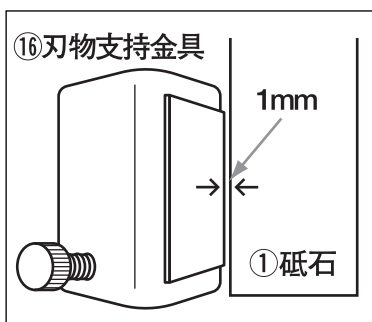
このとき、⑮刃先角度調整金具の底面が水平になるように調整してください。

刃先角度は、包丁の種類によって調節してください。

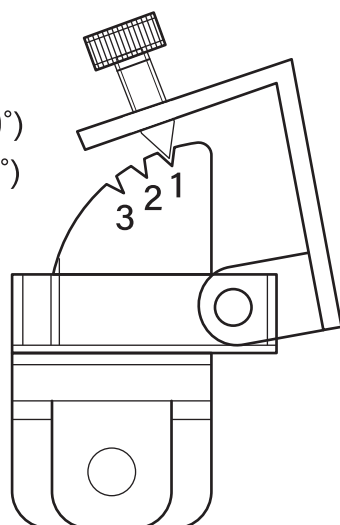
★角度の目安

刺身(柳刃) → 刃先角度1(10°)

文化、菜切、出刃、牛刀 → 刃先角度2(20°)



■①砥石と⑯刃物支持金具と隙間が均等になるように1mm程度離す。



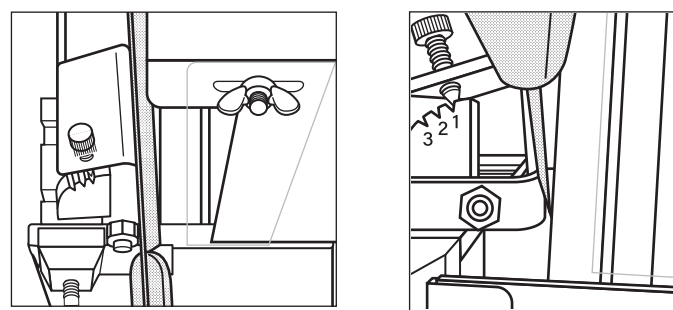
正しい包丁の研ぎ方と注意



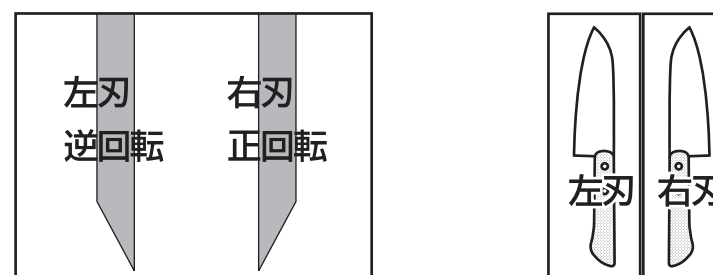
砥石は必ず正しい回転方向でご使用ください。右包丁は正回転(左回転)、左包丁と両刃のウラ刃研ぎは逆回転(右回転)です。刃先に砥石が下から上に向かってくるように回転方向を選んでください。

1 研磨する包丁を⑯刃物支持金具に当てて、角度を調整してください。

角度合わせが済んだら、いったん包丁を外してください。



2 研磨する包丁の研ぎ面に合わせ、砥石の回転方向を決めてください。

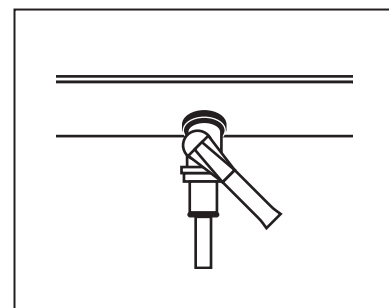


3 ⑨水タンクに水を入れてください。

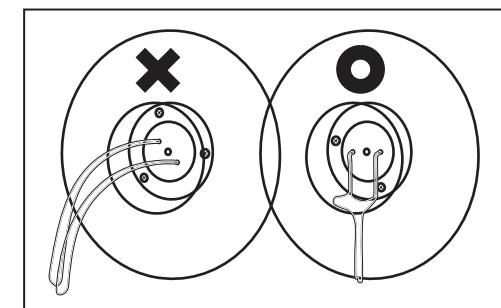
4 ⑪⑫スイッチが両方ともOFF位置にあることを確認してから、電源プラグを電源コンセントに接続してください。

5 水タンクのcockを回し、水を砥石に出し始めてください。

つづいて、包丁に合わせた回転方向のスイッチを入れ(ON)、砥石表面を濡らしながら水の出る量を調整してください。



■cockを回す(45度くらいが適当)



■水が砥石を伝うように水量を調整

(つづく→)

正しい包丁の研ぎ方と注意

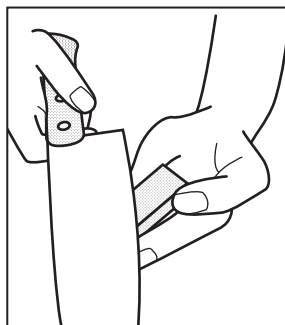
- 6 砥石全体が濡れたら、刃物支持金具の上に研磨する包丁を乗せて研磨を始めてください。

包丁の柄の部分をしっかり握り、軽く前後に動かして研いでください。

包丁の根元から切っ先までゆっくりと、刃の裏にカエリ(バリ)が出るまで研いでください。

- 7 包丁全体が研磨できたら、刃物支持金具から外し、スイッチを切り(OFF)、水を止めてください。

- 8 カエリ(バリ)は付属の油砥石(オイルストーン)で軽くこすって仕上げてください。



- 9 刃先を指先で確認し、カエリ(バリ)を感じなければ研磨は終了です。

このとき、刃先で指を切らないように注意してください。



カエリがあるまま刃物を使用されますと、刃欠けの原因になるばかりか、欠けた刃先が切ったものに食い込むなど大変危険です。

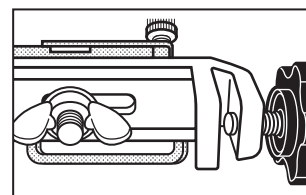
正しい包丁の研ぎ方と注意

■逆回転で使用する場合

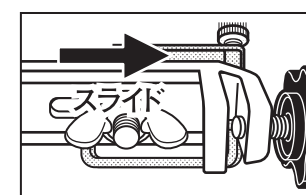
- 10 ⑪⑫スイッチが両方ともOFF位置にあり、電源プラグも電源コンセントに接続していないことを確認する。

- 11 ノブねじを緩め、水受けから⑮⑯⑰刃先角度調整金具一式を取り外します。

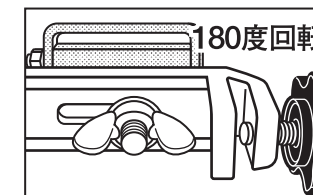
底面にある蝶ナットを緩めて、⑯刃物支持金具を半回転させ、さらに砥石の外周部に合うように平行に移動させてから蝶ナットで締め付けて固定する。



■蝶ナットを緩め



■刃先角度調整金具を右へスライド

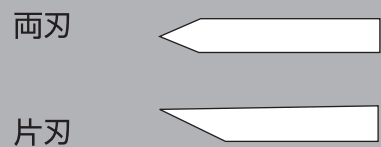


■刃先角度調整金具を180度半回転調整後、蝶ナットをしっかり締める

- 12 刃先角度調整金具一式を水受けの正回転時と逆の位置に、砥石から1mm程度離して固定する。

- 13 あとは正回転時の1)~9)と同じようにして研磨してください。

包丁の種類



包丁には片刃と両刃があります。片刃を両側から同じように研ぐと切れ味が悪くなります。また、両刃を片側から研いでも切れ味は良くなりません。両側から均等に研いでください。

●包丁の種類(刃先)には次のようなものがあります。刃先に合わせて刃研ぎをしてください。

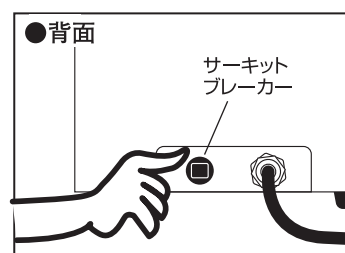
種類	菜切包丁	牛刀	刺身包丁	出刃包丁
形状				
名称	両刃	両刃	片刃	片刃
刃研ぎの方法	●刃の角度に合わせて、両面同じように研いでください。		●刃先の角度のついている面を角度に合わせて研いでください。 ●裏面のカエリ(バリ)は付属の油砥石(オイルストーン)で軽くこすって仕上げてください。	

スイッチを入れてもモーターが回らない時

スイッチを入れても(ON)モーターが回らないときは、⑬サーキットブレーカーが作動していることが考えられます。右図の通り、本体背面のサーキットブレーカーの黒いボタンを60秒以上経過してから押し込み、ブレーカーを復帰させます。

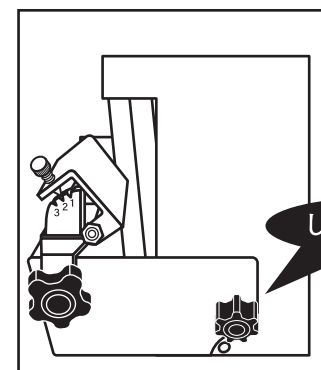
それでもモーターが正常に動かない場合は、販売店または(株)ボニーまでお問い合わせください。

■ブレーカーの復帰方法

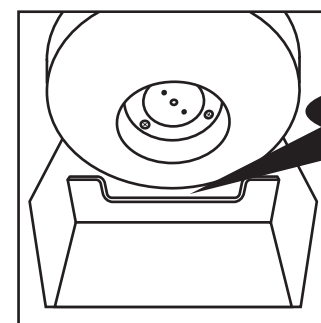


ご使用後のお手入れ

- 1 研磨終了後、水タンクの水を捨て、砥石の水切りのために1分間程度、空運転をしてください。
- 2 油污れなどを拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。
長時間使用しますと、水受けや排水口に研ぎカスが溜まります。
- 3 水受けを取り外し、研ぎカスを洗い流してください。
刃先角度調整金具一式も水受けから外し洗浄してください。



■水受け用のナットをしっかり締め、ガタつきがないように水受けを固定(ガタつきがあると研磨時に動き危険)。



■水受けを着脱の際、砥石に当たらないように。

- 4 洗浄し、乾燥したあとねじ部、支点部に給油してください。

(給油は食品機械専用油をお勧めします。)本機は防水構造ではありません。汚れを取り除くときは、乾いた布か洗剤を染みこませ、よくしぼった布で拭いてください。絶対に直接水を掛けて洗わないでください。

揮発性の溶剤やガソリン、シンナーなど引火性のものでは洗ったり拭き取ったりしないでください。変形や火災などの原因になります。

砥石の表面は平らを保ってください。長時間、砥石の同じ部分を使用すると、砥石表面が不規則(不均一)になります。時々、市販の砥石ドレッサーなどを使用して砥石表面を平らに保ってください。

●使用後の保管

- ・高温にならない、乾燥したところに保管してください。
- ・小さいお子様の手が届かないところで、落下の心配のないところに保管してください。

●各部取付ねじの点検

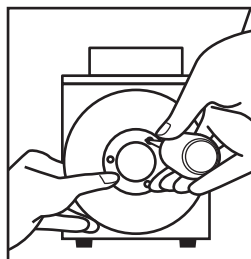
砥石の交換方法

警告

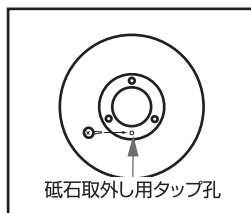


1. 砥石交換のときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
2. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。異常があると砥石が破損し、けがの原因になります。

- 1 刃先角度調整金具一式と水受けを外した後、砥石が回転しないように手で押さえながら砥石の内側にある3箇所のねじをゆるめて外します。

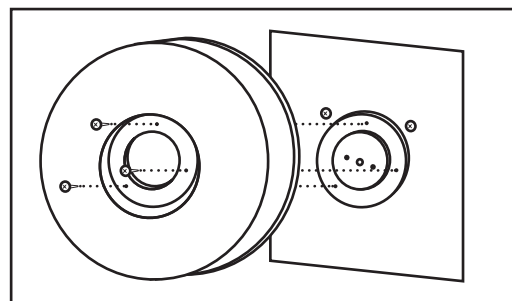


- 2 つぎに1で外したねじをタップ孔にねじ込んでいくと、砥石は水平方向に外れます。



- 3 砥石の取付けは、取り外しと逆の手順で行ってください。

新しい砥石の金具側の内径を、3箇所の固定用の孔がねじ部に合うように砥石取付金具に確実に挿入してください。



- 4 正しく入ったことを確認した後に、1)で外した3本のねじを締め付けて砥石を固定してください。

- 5 取付後は、一度砥石を手で軽く回し、砥石の回転に振れがないことを確認してください。

★ 砥石を交換した後は、必ず3分間以上の試運転をしてください。
試運転せずに作業をすると、思わぬけがの原因になります。

アフターサービス

●保証書

保証書は必ず「販売店名・お買上げ日」等の記入をお確かめになり、大切に保存してください。

●修理を依頼される時

- ◎保証期間中、製品に保証書を添えて、お求めになられた販売店にご持参ください。
- ◎保証期間が過ぎている時、お求めの販売店にまずご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有償で修理致します。

●アフターサービス等についてのお問い合わせは

お求めの販売店または、株式会社ボニーにお問い合わせください。

〈株式会社ボニーのお問い合わせ先〉

お電話●06-6562-2360 ホームページURL●<http://www.bonny.co.jp> メール●info@bonny.co.jp